



— 2月定例会 —

第2回定例会が2月15日～3月11日まで開催され、令和4年度一般会計当初予算や追加議案を含む46件の議案が審議されました。また、最終日にロシアのウクライナ侵攻を非難する決議案を全会一致で可決しました。

令和4年度 一般会計予算の概要

収入

市税収入は、固定資産税のコロナ禍による昨年度の特例措置の終了と、昨年度の個人市民税が想定より落ち込まなかったことが反映されて、昨年度比3.8%プラスの、25億7,602万円が計上された。また、地方交付税は、地方財政計画などを踏まえ、総額で1億2,300万円増の85億8,300万円を見込み、好調が続いているふるさと納税寄付金は、前年度同額の12億円を見込んでいる。しかし、臨時財政対策債が大きく減収となる見込みであり、財政調整基金繰入金を除く歳入総額が昨年度比で3億7,800万円の減収を見込んでいる。この不足分を財政調整基金の取り崩しで補い、一般会計総額は204億1,900万円（前年度比3,100万円 △0.2%）となった。

支出

退職手当負担金の減少や、角館こども園の民営化による職員数の減少により、人件費は昨年度比で1億8,045万円減（△4.8%）の、35億8,290万円を見込んでいる。普通建設事業費は、建設事業の抑制などにより、昨年度比で11.3%減の13億2,659万円を計上している。また、第三セクターの統合に向けて、三セク4社の借入金を市が肩代わりするための貸付金や、介護保険、後期高齢者医療特別会計等への繰出金などの増加要因のほか、3回目のワクチン接種などの新型コロナ対策や、市民の健康と生命と生活を守るための事業予算、産業振興や教育文化にかかる新規事業などが盛り込まれている。全体としては、昨年度に約6億円支出された除雪費が、当初予算では、約2,200万円しか計上されていないことや、市の貯金である財政調整基金が約5億7,000万円しか残っていないことなどから、新型コロナ等による状況の急変や非常事態発生などの不測の事態への対応などを考慮すると、非常に厳しい財政状況である。

新型コロナ積極対応を

令和4年度予算総額 370億618万円を可決

一般会計予算**204億1,900万円** 特別会計・企業会計**165億8,718万円**

令和4年度 特別会計・企業会計予算（単位：千円）

集中管理特別会計	……3,987,979	介護保険特別会計	……458,319	病院事業会計	……5,497,994
国民健康保険特別会計	…2,841,577	生保内財産区特別会計	……85,000	温泉事業会計	……95,669
同 神代診療施設勘定	……95,309	田沢財産区特別会計	……58,000	水道事業会計	……1,536,405
後期高齢者医療特別会計	……368,398	雲沢財産区特別会計	……6,207	下水道事業会計	……1,556,319

ロシア非難決議を可決

議員提出議案として、全議員の連名でロシアのウクライナ侵攻を非難する決議案を提出し、可決しました。

仙北市議会議員選挙における選挙運動の一部自粛の申し合わせ事項

コロナ感染拡大防止のため、市民との接触（握手）を避け、大人数での集会、飲食を慎み、街頭演説等への動員は行わない。選挙運動の連呼や街頭演説は9:00から18:00とする。遊説は選挙カー、随行車1台までとする。

議決結果/議員賛否 令和4年 第2回 仙北市議会 定例会(招集日:2/15 最終日:3/11)

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	会派及び氏名 件名	議決月日	議決結果	善生会							ク市 ウラ民				共産党	公明党	無党派	
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	八柳良太郎	青柳宗五郎	門脇晃幸	稲田修	伊藤邦彦	阿部則比古	荒木田俊一				小木田隆
議案第13号	令和4年度仙北市一般会計予算	3/11	可決	賛	賛	賛	賛	賛	欠	欠	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛
議案第16号	令和4年度仙北市後期高齢者医療特別会計予算	3/11	可決	賛	賛	賛	賛	賛	欠	欠	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。